

- ② 中学校福祉体験、各事業所より
- ③ 各事業所より、伊久間地区認知症サポーター養成講座
- ④ 希望の旅／高齢者クラブマレットゴルフ大会
社協会費のお願い
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ お知らせ／4か月の予定／職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス http://takagi-syakyo.com/
●印刷● 龍共印刷株式会社



災害ボランティアセンター運営訓練

6月30日(日)に災害ボランティアセンター運営訓練を行いました。

本年は1月1日に能登半島地震が発生し、当地域の皆さんも大変関心が高く、区会・自治会、自主防災組織、民生児童委員やV-netベリーの皆さんと社協職員とで約70名の参加となりました。

第一部では長野県社会福祉協議会の山崎博之氏から能登半島地震で行った自身の支援を通して、災害ボランティアセンターの社会福祉を踏まえた役割や住民ニーズ調査の捉え方について学習しました。

第二部では災害ボランティアセンターにおけるコミュニティマッチングについてグループワークを行い、被災者が求める支援の内容やその時期、また支援に対する立場毎の役割について研修しました。

参加者からは「組織での行動や、他の立場の方の様子も確認するきっかけになった」「地域での助け合いが大切」等々感想が寄せられました。

学んで、体験して、交流しました 喬木中学校福祉体験

福祉体験事前学習

～喬木中学校で認知症サポーター養成講座を開催しました

令和6年6月5日(水)に福祉体験の事前学習として、喬木中学校3年生2クラスを対象に、認知症サポーター養成講座を行いました。これは認知症の方がこれまで通りの生活が送れるよう、理解や気づきを深めるための講座です。キャラバンメイトのなずなの会さんの寸劇やコグニ体操、映画鑑賞、福祉についての座学を行い、生徒の皆さんは真剣に話を聴き、学びを深めました。講座を終えた感想には「家族が認知症だったら、強い言葉で否定するのではなく、共感することを心掛けたい」と寄せてくれました。この事前学習を活かし、7月に行われる福祉体験につなぎます。



7月4、5日の2日間 各事業所で福祉体験をおこないました!

デイサービスセンターふれ愛

福祉体験に8名の中学生が参加してくれました。七夕飾りでは、色とりどりの短冊に中学生と利用者様の願いを書いて笹の葉につけ、素敵な七夕飾りが完成しました。

中学生と利用者様が短冊の願い事を互いに見て、声を掛け合う場面もあり交流ができました。

デイサービスの畑で育てたラディッシュの葉とレタスを収穫し、昼食に利用者様と中学生に召し上がっていただくと「美味しかった」と喜んでくれました。

中学生が考案した間違い探しやジャンケンゲームでは中学生が司会進行を務め、利用者様とコミュニケーションをとりながらスムーズにレクリエーションを進めてくれました。利用者様と中学生がともに笑顔で過ごす事ができ大盛況となりました。利用者様や中学生から「楽しかった」との声が多く聞かれ有意義な時間となりました。



いきいきクラブ

福祉体験に 5 名の中学生が来てくれました。中学生と触れ合える機会がなかなかないため利用者様はとて楽しんで交流していました。中学生と利用者様の共通点探しでは、中学生から「好きな食べ物は何か」等聞いてコミュニケーションをとっている場面があったり、話の中で戦争の話題になり利用者様の体験談にうなずきながら真剣に耳を傾けている姿もありました。ボーリングで盛り上がり、パン作りをしたり、中学生が考えてきてくれた連想ゲームをしたりと、終始笑顔で、いい雰囲気の中福祉体験が出来ました。



特別養護老人ホーム 喬木荘

福祉体験に 6 名の中学生が来てくれました。初日は自己紹介、介護食体験、七夕の願いと飾りつけを行いました。「介護食体験は利用者の気持ちになった。貴重な体験だった。」「会話が途切れる事なく続いて明るい雰囲気の中、七夕を一緒に飾ることができた」と感想がありました。2 日目は文字並べ替えクイズや間違い探しゲームなど中学生による進行でとても盛り上がり、明るい表情に変わった利用者様達が答えられていました。リフト、車椅子体験では利用者様や介助者の気持ちを体験しました。手浴では実際に利用者様へ実施して大変感謝されました。利用者様の笑顔を見て「感謝の言葉をもらえることはやりがいに繋がる、接することで寄り添っていると感じられる」と笑顔で体験学習を終えた生徒さんの姿が印象的でした。



伊久間地区で認知症サポーター養成講座を開催しました

令和 6 年 6 月 8 日 (土) に認知症サポーター養成講座を行いました。伊久間地区の 13 名の方が出席し、役場包括の職員による認知症ケアパスについての学びや、認知症家族のリアルな日常を描いた「認知症とともに」の映画鑑賞を行いました。認知症という決して他人事ではないテーマをなすなの会さんが、明るく前向きな寸劇を披露したり、コグニ体操では脳トレを行い、体を動かし、会場は温かい雰囲気に包まれていました。

「認知症の方とご家族がこれまで通り、住みやすい地域でいられるよう、毎月なすなカフェを開催しています。お気軽に来てほしいです」と代表の三浦さんは話してくれました。



赤い羽根共同募金配分金事業

『希望の旅』日帰り旅行に行ってきました

5月25日(土) 障がいのある方とその介護者の交流を目的とした日帰り旅行『希望の旅』を実施しました。今年、参加者28名・社協職員4名の計32名で、名古屋市のリニア・鉄道博物館と桑名市のなばなの里へ出かけました。

リニア・鉄道博物館では、新幹線などの車両展示や鉄道のジオラマを見て楽しみました。次の目的地のなばなの里では、広い園内を散策し、きれいな花を見たり、お土産を買ったりとゆっくり楽しむことができました。そして、帰りの車中ではカラオケ大会で大盛り上がり。次から次へと素敵な歌声がバス中に響き渡りました。

帰りの会の中で、「楽しかったよ」「最高!!」などと、うれしい感想をたくさん聞くことができました。希望の旅の目的のとおり、参加者同士交流を楽しみ、助け合い、とても心温まる旅行となりました。



リニア・鉄道博物館



『なばなの里』にて



リフト付きバスで行ってきました。



高齢者クラブ

好プレー続出! マレットゴルフ大会を開催しました

6月25日(水)に大原机山マレットゴルフ場で、マレットゴルフ大会が開催されました。各組のリーダーの温かい声掛けもあり、参加者の楽しそうにプレーをする様子があちらこちらで見られました。「久しぶりにこう



して集まると、積もる話もあって楽しい。何よりマレットを通じて元気な顔で会えることが一番うれしい」と話す方もおられました。高齢者クラブではスポーツを通して皆さんが交流できる企画をこれからも計画していきます。



令和6年度社協会費の納入のお願い

社協とは、社会福祉のことを専門に行う地域の民間福祉団体です。会費を納めて頂くすべての皆さんが社協の会員です。※社協活動にご賛同いただける、・世帯の方(一般会員)、・地域関係機関や組織に係る個人の方(賛助会員)、・民間の法人・事業所・事業者など(特別会員)、この会員の皆さんで構成されています。

地域同士の支え合い活動やボランティア活動等の福祉事業を進める資金となります。会費納入のご協力をお願い申し上げます。

令和5年度の会費実績額 2,395,000円

一般会員(1,612件)	(1□)	1,000円)
賛助会員(61件)	(1□)	3,000円)
特別会員(47件)	(1□)	10,000円)

ご賛同ありがとうございました。令和6年度も宜しくお願い致します。



たかぎボランティア・地域活動情報誌



さくみち





第104号

令和6年7月発行
編集・発行
喬木村社会福祉協議会
ボランティアセンター
Tel33-5520
fax33-5330

子どもから大人まで地域の方が交流できる場

【内容】

- ☆ かき氷コーナー 無料です!
- ☆ 本格的な味 たかぎコーヒー
- ☆ レク体験コーナー
参加していただいた方には、お菓子付き
- ☆ みんなでeスポーツ
スイッチスポーツ体験コーナー 
- ☆ 本のリユース 
- ☆ 11時30分から紙飛行機大会

☆ アロマカップ製作!



冷蔵・冷凍品を購入した際についてくる保冷剤を再利用。手軽に作れて見た目にも涼やか。夏のインテリアにぴったりです。親子で参加いかがでしょうか。

一個作成100円(材料費)

ふれあい広場開催

赤い羽根共同募金分配金事業



【ボラ参加】

お友達もお誘いの上、お気軽にご参加お待ちしております。また、ふれあい広場を一緒に盛り上げてくださるボランティア募集しています。QR(ボラ参加)より申込みできます。

7月27日(土)

10時~12時

みんなの広場アスボ

「私のつぶやき」

にこにこフレンズ 水野 由美子

演奏ボランティアの活動を初めて14年になり、少しずつ多方面からご依頼を頂けるようになりました。コロナ禍においても飯田下伊那のいきいき教室やサロンで演奏を楽しんでいただくことができました。中国1500年の歴史を持つ伝統楽器「二胡」の優しい音色は心を癒してくれると思います。

今後の予定として豊丘のサロン、川路の敬老会、高森の月見草鑑賞会、喬木村では曙月庵まつりとお声をかけていただいております。練習の励みになっています。これからも各地域のサロンやイベントを通してより多くの皆様に二胡の音色をお届けできればと思います。どうぞお気軽にお声がけください。



「二胡の演奏会の様子」

野菜 大・大・大募集しています!

8月9日にみんなのランチ会で児童クラブの皆さんにカレーの提供を予定しています。

そこで、カレー用材料の野菜を募集します。じゃがいも、玉ねぎ、にんじん、なす、ズッキーニ、きゅうりなど大歓迎です。取りに伺うこともできますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。



ご寄付をいただきありがとうございますとご報告しました

地域の方からご寄付を届けて下さいました。大切に使用させていただきます

手作り小物TOKI様

匿名様 アジャストテーブル

匿名様 うちわ50個

匿名様 金10万円

(株)原建築店一同様

金10万円



7月の予定	結婚相談	20日 (土)	19:30~20:30	福祉センター談話室(予約制)
	なすな予防カフェ	30日 (火)	10:00~12:00	アスポ
8月の予定	心配事相談	7日 (水)	10:00~11:00	福祉センター
	結婚相談	24日 (土)	19:30~20:30	福祉センター談話室(予約制)
	なすなカフェ	お休み		
9月の予定	なすな予防カフェ	27日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	心配事相談	6日 (金)	10:00~11:00	福祉センター
	結婚相談	21日 (土)	19:30~20:30	福祉センター談話室(予約制)
	なすなカフェ	10日 (火)	10:00~12:00	アスポ
10月の予定	なすな予防カフェ	24日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	心配事相談	11日 (金)	10:00~12:00	福祉センター
	なすなカフェ	8日 (火)	10:00~12:00	アスポ

職員から

日に日に暑さが強くなってきましたね。今年は早くから気温が高く、夏服を急いで引っ張りだしました。2024年もう折り返しで、半年があつという間に感じます。

よく年を重ねると「一年が早く感じる」なんてありますよね。心理学的な法則があり「ジャンーの法則」というらしいです。年を取る毎に、人生における1年の比率が小さくなることによって感じる現象だそう。思い返せば学生の頃と今の時間の流れってたしかに違うな〜とふと思いました。大人になった証拠でしょうか。

ところで、“夏”がきてみなさんはなにかを思い出しますか?普段は考えないのにその季節の空気や香りを感じて思い出す、まさに“エモい”ですね。

ぜひ今年の夏は季節の記憶を味わいながら過ごしてみてください。(N.M)

ご意見・ご要望をお寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会
電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619
Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

